

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成21年7月7日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

学 長 挨 拶

発 表 事 項

1. 学生への経済的緊急支援について
2. 教養教育科目「実践的キャリア教育学Ⅰ」特別フォーラムの開催について
3. (株)東北テクノアーチとの業務契約の締結について
4. 理学部「サイエンス・サマースクール in やまがた」開催について
5. 最上川学教育プログラムの試行実践の実施について

お 知 ら せ

1. 学術情報基盤センター公開講座「どうするケータイの指導」の開催について
2. 附属小学校「親子わくわくワークショップ」の開催について
3. 附属幼稚園「すこやか広場－親子で水遊びをしよう－」の開催について
4. 「化学工学会米沢大会」の開催について

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：7月21日(火) 11:00～11:30

場 所：山形大学インフォメーションセンター(小白川キャンパス)

平成21年7月7日

学生への経済的緊急支援について

山形大学では、今般の経済情勢を踏まえ、本学の学生に対する経済的緊急支援として、授業料免除対象枠を拡充することといたしました。

今年度前期の授業料免除申請者は912人で、前年度同期より118人の増加(14.9%増)となっています。

申請者のうち、成績基準及び家計基準の2つの条件を満たした者を免除対象者としています。

昨年度までは、一定の範囲内で全額免除又は半額免除を実施しておりましたが、免除対象者が増加したことにより、従前の免除枠では全額免除となる学生が大幅な減少となるため、拡充することとしたものです。

この結果、免除対象者数は次のとおりとなります。

授業料免除者数 747人 (前年度同期比 +94人)
(内訳) 全額免除者数 420人 (前年度同期比 +30人)
半額免除者数 327人 (前年度同期比 +64人)

(お問い合わせ先)
山形大学小白川事務部学生支援ユニット
電話：023-628-4130

平成21年7月7日
山形大学

山形大学教養教育科目「実践的キャリア教育学Ⅰ」特別フォーラム
「社会起業家フォーラム in 山形 ～就職・仕事にどう向き合う！？
私らしい働き方・生き方を見つけよう～」開催についてのお知らせ

一般教養科目「実践的キャリア教育学Ⅰ」（エンロールメント・マネジメント室 福島真司教授担当）の受講学生が、本フォーラムを企画しました（実行委員長：山形大学人文学部1年金濱勇太）。

本フォーラムは、年々注目が高まってきている、医療・福祉・環境・教育・貧困・就労問題などの社会的課題をビジネスの手法で解決することを目指す「社会起業家」に注目し、社会起業家の働き方・生き方やビジネスの発想について学び、そこから参加した学生等の職業観や生き方を考えることを目的として開催いたします。

既存の枠組みにとらわれない奇抜な発想とアイデア、行動力で事業を行っている企業・NPOの経営者をお呼び、お話を伺いし、その後参加者と議論をいたします。

1. 日時 7月11日（土）13時40分～16時40分（13時10分受付開始）
2. 会場 山形大学小白川キャンパス教養教育棟3号館313教室（先端学習ラボ）
3. 対象 主に、大学生（一般社会人のみなさまの参加も可）
4. 定員 30名程度（申し込み先着順）
5. 参加費 無料
6. 内容・スケジュール 社会起業家の講演及びパネルディスカッション等
ゲスト講演者

★リサイクル、新エネルギー、エコグッズの開発など環境ビジネスに挑戦
株式会社アイ・タックル代表取締役 水沢正志さん

★福祉とビジネスを両立させる新しい障害者の就労支援のカタチを山形から発信
みちのく屋台こんにやく道場代表 齋藤淳さん

★バングラディッシュの子供たちに教育機会を提供するため学校を建設
NPO法人アロアシャプロジェクト代表理事 齋藤政美さん

7. 申し込み方法 yamagata_syakaikigyoka@yahoo.co.jp まで電子メールにて。

- ① 氏名
- ② 連絡先（電話番号・メールアドレス等）
- ③ 学生の場合は、大学名・学年 の記載をお願いします。

（お問い合わせ）

山形大学エンロールメント・マネジメント室
担当 / 教授 福島 真司
電話：023（628）4061

平成21年7月7日
山形大学

山形大学と(株)東北テクノアーチとの業務提携

山形大学では、平成20年9月に「知的財産実践機構」を設置し、大学発の特許等を企業に積極的にライセンスすること等を通じて研究成果の実用化を図ってきました。その最近の活動についてお知らせします。

1. (株)東北テクノアーチとの業務提携

東北で最大のTLO機関である東北テクノアーチとの業務提携契約を締結することとしました。

東北テクノアーチは、平成10年に設立された大学等技術移転促進法に基づく文部科学省及び経済産業省の承認の国内有数のTLO機関です。今回の提携により、学内の研究成果をより広く産業界に技術移転することが可能となるものと期待しています。

今後、さらに全国の有力なTLO機関数社との提携を検討していく予定です。

2. 発明の特許化と企業への技術移転の状況

平成20年9月以降、知的財産実践機構では、大学発の発明について学内研究者からの相談（技術開示）を受け、その内容が特許になじむものかどうかを調査した上で、特許化を進めてきました。また、企業との間でライセンス（特許の実施許諾）を締結することで、発明の実用化を図ってきました。

これまで、学内の発明者から15件の相談があり7件の特許出願が行われました。そのうち、2件のライセンス契約が行われ、さらに1件が合意にむけて進行中となっています。ライセンスされた発明は、日本国内をはじめとして海外の複数の国でも実施される見込みです。

今後も、大学内の優れた発明を積極的に特許等として創出し、産業振興に貢献していきます。

(お問い合わせ)

地域共同研究センター 横島

電話：0238(26)3600

平成21年7月7日

理学部「サイエンス・サマースクールinやまがた」開催について

山形大学理学部では、毎年、高校生を対象として、実験・実習をとおして学べる体験型講座「サイエンス・サマースクールinやまがた」を企画しております。

数学、物理、化学、生物、地球科学の各分野の教員ならびに学部学生や大学院生が丁寧に指導いたします。

理数科好きの高校生の皆様からのご応募を心よりお待ちしております。ふるってご参加ください。

日 程 : 平成21年8月6日(火)～12日(水)
(講座は7コースあり、1日で1コース受講できます。お好きなコースをお選びください。)

会 場 : 山形大学理学部・SCITA(サイタ)センター(山形市小白川キャンパス)

対 象 : 高校生

定 員 : 1コースあたり10名(「コース1」のみ5名)

参加費 : 無 料

申込期間 : 平成21年6月22日(月)～7月24日(金)必着

内容詳細

- ・8月 6日(木)10:00～16:00 岩石から鉱物を取り出してみよう(コース1)
- ・8月 6日(木)10:00～16:00 見て、聞いて、測って納得！自然環境中の放射線
- ・8月10日(月)10:00～16:00 色々なプラナリアを観察してみよう
- ・8月10日(月)10:00～17:00 高温超伝導体を自分で作ってみよう
- ・8月11日(火)10:00～16:00 宇宙の不思議をのぞいてみよう
- ・8月12日(水)10:00～14:00 最先端の数学に触れてみようー「符号理論入門」
- ・8月12日(火)10:00～16:00 ナノテクノロジーを体験してみよう！

(お問い合わせ先)

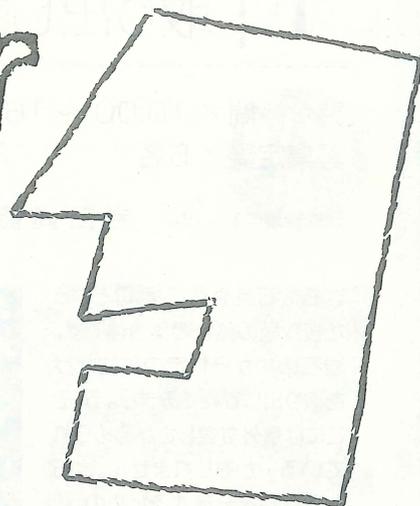
山形大学理学部事務ユニット

電話 : 023-628-4505

E-mail : sssy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

Science Summer School in Yamagata

夏×サイエンス
=新しい自分



対象：高校生

受講料
無料

お好きなコースをお選びください

- コース 1 8月6日(木)
岩石から鉱物を取り出してみよう

- コース 2 8月6日(木)
見て、聞いて、測って納得!
自然環境中の放射線

- コース 3 8月10日(月)
色々なプラナリアを観察してみよう

- コース 4 8月10日(月)
高温超伝導体を自分で作ってみよう

- コース 5 8月11日(火)
宇宙の不思議をのぞいてみよう

- コース 6 8月12日(水)
最先端の数学に触れてみよう
-「符号理論入門」

- コース 7 8月12日(水)
ナノテクノロジーを体験してみよう!

高校生の
熱い夏こそ：
ほんもののサイエンスに
夢中になってみませんか？

Science Summer

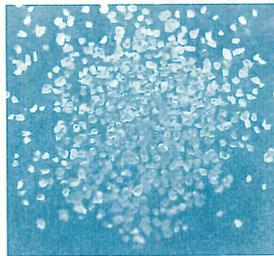
コース 1 | 岩石から鉱物を取り出してみよう

時間 / 10:00 ~ 16:00
募集定員 / 5名

8/6
(木)

地球環境学科 講師 岩田尚能

岩石は石英や長石、雲母といった複数種の鉱物の集合体です。岩石の中から特定の鉱物だけを取り出して見てみましょう。そこには意外な美しさが秘められている…かもしれません。岩石から鉱物を分離するための、粉碎・洗浄・磁力分離・比重分離・手選などの作業を体験してみませんか？



「分離鉱物の例」

コース 2 | 見て、聞いて、測って納得！ 自然環境中の放射線

時間 / 10:00 ~ 16:00
募集定員 / 10名

8/6
(木)

地球環境学科 教授 齋藤和男
物理学科 准教授 門叶冬樹
RI実験室 教務職員 乾恵美子

放射線は自然環境中の何処にでも存在していることを知っていますか？百聞は一見に如かず！自然環境中の放射線を測定したり、霧箱を作って放射線を見てみましょう。この他に、岩石の年代測定の研究方法やノーベル賞受賞研究の元となったカミオカンデのことなど、放射線を利用して実際に研究している先生達のお話があります。



コース 5 | 宇宙の不思議をのぞいてみよう

時間 / 10:00 ~ 16:00
募集定員 / 10名

8/11
(火)

物理学科 教授 柴田晋平
物理学科 准教授 滝沢元和

宇宙を支配するエネルギーや物質のほとんどは正体不明だっていますか？東北地区では唯一の立体宇宙シアターを用いて宇宙の構造について学びます。次に、実際のデータに触れたり、物理法則を考えたりしながら正体不明の物質の存在を確かめます。



Photo: Robert Gendler

コース 6 | 最先端の数学に触れてみよう —「符号理論入門」

時間 / 10:00 ~ 14:00
募集定員 / 10名

8/12
(水)

数理科学科 准教授 原田昌晃

現在、身近な色々な場面で用いられているデジタル通信には数理学の一分野である「符号理論」が深く関わっています。少々誤りであれば正しい情報に訂正して伝えることが可能であることを保証するのが「符号理論」です。その基礎を高校生の皆さんにも分かるように解説します。また、数ある数理学における有名な未解決問題の中で、符号理論に関係し、高校生の皆さんにも問題の意味が理解できる問題を紹介したいと思います。数学が身近で役立っていることを実感するとともに、高校の数学とは一味違った最先端の数学に触れてみませんか？

Theorem 1 (Sphere-Packing Bound). If there is an (n, k, d) code over \mathbb{F}_q , then

$$\binom{n}{k} - (q-1) \binom{n}{k-1} - (q-1)^2 \binom{n}{k-2} - \dots - (q-1)^{k-1} \binom{n}{1} \leq q^n$$

where $t = \lfloor (n-k)/d \rfloor$.

Proof. Let $S_j(x)$ be the sphere of radius t centered at a vector x . The number of vectors y in $S_j(x)$ such that the distance of x and y is $\leq (q-1)t$ is $\binom{n}{k} - (q-1) \binom{n}{k-1} + \dots + (q-1)^{k-1} \binom{n}{1}$. Hence there are

$$m_0 + \dots + m_{t-1} = \binom{n}{k} - (q-1) \binom{n}{k-1} + \dots + (q-1)^{k-1} \binom{n}{1}$$

total vectors in $S(x)$. By the triangle inequality, the spheres of radius t about distinct code words are disjoint. Since an (n, k, d) code over \mathbb{F}_q has q^k code words, $q^k(m_0 + \dots + m_{t-1})$ cannot exceed the number of vectors in \mathbb{F}_q^n , which is q^n . \square

School in Yamagata



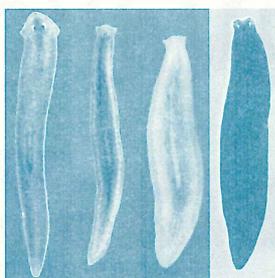
コース 3 | 色々なプラナリアを観察してみよう

時間 / 10:00 ~ 16:00
募集定員 / 10名

8/10
(月)

生物学科 助教 中内 祐二

プラナリアは非常に再生能力の高い生物として理科の教科書などにもよく取り上げられていますが、実際にプラナリアを目にする機会は少ないと思います。山形に生息する色々なプラナリアの顕微鏡観察を通じて、プラナリアの体のしくみとその再生能力の高さの関係について学んでみませんか？



コース 4 | 高温超伝導体を自分で作ってみよう

時間 / 10:00 ~ 17:00
募集定員 / 10名

8/10
(月)

物理学科 教授 佐々木 実
物理学科 准教授 大西 彰正

高温超伝導体が発見されて以来20年が経過しましたが、今なお盛んに研究されています。それほど研究者を魅了し続けている高温超伝導体を自分で作ってみませんか。そして、超伝導の不思議を体験してみましょ。



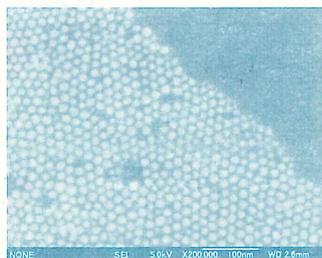
コース 7 | ナノテクノロジーを体験してみよう!

時間 / 10:00 ~ 16:00
募集定員 / 10名

8/12
(水)

物質生命化学科 教授 坂本 政臣
物質生命化学科 准教授 栗原 正人

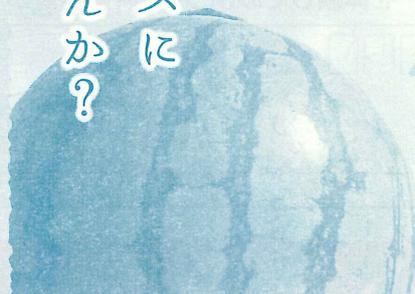
銀でできた1億分の1メートル(10ナノメートル)の粒子(銀ナノ微粒子)を実際に合成します。銀の融点は1000℃弱ですが、銀ナノ微粒子の融点は室温まで低下する現象が起こります。こうした現象を利用して、電気が流れる紙や繊維を作ってみましょ。



「銀ナノ微粒子の電子顕微鏡像」

高校生の
熱い夏こそ：
ほんもののサイエンスに
夢中になってみませんか？

夏×サイエンス
=新しい自分



受講手続き

- 対象** 高校生
- 定員** コース1のみ定員5名、その他のコースは各定員10名です。
- 受講料** 無料
- 場所** 山形大学理学部
- 受講方法** 希望するコースを選択し、受講申込方法に従ってお申し込みください。
複数のコースのお申し込みも可能です。
- 受講申込方法** 下の受講申込書(コピー可)に必要事項を記入のうえ、
受講申込書を封書で下記の送付先へ郵送してください。
(下記お問い合わせ先のFAX・メールでの申し込みも受け付けております)
- 受講申込書送付先** 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
山形大学理学部サイエンス・サマースクール係 宛
- 申込期間** 2009年6月22日(月)~2009年7月24日(金)必着

受講決定方法

先着順
残念ながら募集定員を上回ったため
受講いただけない場合は、別途その旨
をお知らせいたします。

受講決定通知

受講者へ受講証をお送りいたします。

お問い合わせ先

山形大学理学部 事務ユニット
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL.023-628-4505 FAX.023-628-4510

理学部サイエンス・サマースクールホームページ
<http://www-sci.kj.yamagata-u.ac.jp/sssy.html>
E-mail:sssy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

受講申込書

必要事項を記入し、郵送して下さい。
なお、住所及び氏名欄は返信の際に使用させていただきます。

コース番号	コース名および日程	募集定員	コース選択欄	希望するコースに○をつけてください(複数選択可)
①	岩石から鉱物を取り出してみよう	5名		
②	見て、聞いて、測って納得！自然環境中の放射線	10名		
③	色々なプラナリアを観察してみよう	10名		
④	高温超伝導体を自分で作ってみよう	10名		
⑤	宇宙の不思議をのぞいてみよう	10名		
⑥	最先端の数学に触れてみようー「符号理論入門」	10名		
⑦	ナノテクノロジーを体験してみよう！	10名		
住所	〒□□□-□□□□	高等学校名	(学年 年)	性別
氏名	様	電話番号		年齢
				歳

平成21年7月7日

『最上川学教育プログラムの試行実践～最上川支流 小国川における川漁の知恵と技術から暮らしの文化を学ぶ～』の実施について

「大学コンソーシアムやまがた*」では、最上川流域の自然と文化や農山漁村の知恵と技術を革新的に受け継ぎ、21世紀の新たな地域コミュニティの暮らし・文化・産業スタイル、人と自然生態系の生存環境のあり方を模索する「最上川学教育プログラム」の開発を行っています。

地域と連携したプログラム開発のため、森里川海資源と地域人材を生かした試行プログラムを年間10回にわたって計画しています。

第2回目の活動として「最上川支流小国川における川漁の知恵と技術から暮らしの文化を学ぶ」を実施します。

*平成16年4月に設立された、山形県内の大学（4機関）・短期大学（3機関）・高等専門学校（1機関）・放送大学等（3機関）の11教育機関と山形県の連合組織です。

【最上川学教育プログラムの試行実践】

地元住民や市民団体と連携して、流域の農山漁村の自然や文化に学ぶ教育プログラムを開発しています。今年度は地元の知識人・実践者（川・海漁師、またぎ猟師、農家・林家など）と協働し、実験プログラムを試行しており、試行に当たって学生はもとより一般参加者も広く募集しています。

第1回目は、庄内町清川にて「清川・立谷沢の舟運の歴史と川漁文化を訪ねて」を30名ほどの参加を得て開催されました。

第2回目として、別紙資料のとおり最上川の川漁文化に学ぶプログラム「最上川支流 小国川における川漁の知恵と技術から暮らしの文化を学ぶ」を実施します。

試行実践の成果をもとに地域と密接なかかわりを持った大学教育カリキュラムを構想し、来年度にも具体的な科目として設定していく予定です。



（お問い合わせ先）

大学連携推進室 准教授 出川真也

電話：023（628）4970

e-mail: s-degawa@nifty.com

最上川学教育プログラム現地試行実践2

最上川支流 小国川における 川漁の知恵と技術から暮らしの文化を学ぶ

日時 2009年7月11日（土）11：00 ～ 12日（日）15：00

※宿泊は舟形町長沢地区にホームステイします。

場所 舟形町生涯学習センター

山形県最上郡舟形町長沢3798番地

TEL 0233-33-2556

内容

地元案内人や川漁師による小国川の川漁、山菜とりの文化に触れる学習会です。交流会では、地元ならではの小国川鍋を囲んだ情報交換会を予定しています。学生・一般はもちろん子どもさんの参加も歓迎しています。ぜひご参加ください。



スケジュール

11日

- 11:00 舟形町生涯学習センター集合 オリエンテーション
- 13:00 小国川探検隊～最上川支流の川漁文化に学ぶ～
- 18:30 小国河畔で交流会
- 20:00 ホームステイ活動

12日

- 8:30 地域地元学調査
- 13:00 環境マップ作りと学習プログラム作り
- 15:00 終了・解散

参加費用

交流会・昼食2,500円 宿泊費4,000円 ※ただし学生に関して免除特典あり

問い合わせ・申し込み

山形大学大学連携推進室（担当：笹原）

TEL 023-628-4972 fax 023-628-4078 e-mail dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

又は、最上川学推進センター（担当：出川まで）

TEL 0234-57-2177 fax 0234-28-9339 e-mail icesrc@nifty.com

申し込み締切 2009年7月7日（火）

当事業は文部科学省「戦略的大学連携支援事業」による大学コンソーシアムやまがたの運営で実施されます。

プレス通知資料（概要）

平成21年7月7日
山形大学

1. 学術情報基盤センター公開講座「どうするケータイの指導」の開催について

(概要) 子どもにケータイを待たせる場合、適切な使い方をするために、大人は何ができるのか、これまで実践してきた取り組みの紹介や問題の解決について考えます。

日時:平成21年8月7日(金)13:00~17:00

場所:山形大学 小白川キャンパス 教養教育1号館 110教室

問い合わせ:山形大学学術情報基盤センターユニット

TEL 023-628-4209

申込書は、下記からもダウンロードできます。

<http://kdwww.kj.yamagata-u.ac.jp/comu/index.html>

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

2. 附属小学校「親子わくわくワークショップ」の開催について

(概要) 附属小学校教員が、専門性や個性を発揮しながら、ものづくりや実験、体験の楽しさを味わえる「ワークショップ」を開催します。いくつかのコーナーを設けますので、興味あるものを体験することができます。

日時:平成21年7月25日(土)10:00~12:00

場所:山形大学附属小学校

受講対象:園児・小学生とその保護者、

幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校の教員

募集人員:親子50組(園児・小学生は保護者同伴)

受講料:親子1組で500円

問い合わせ:山形大学附属小学校

TEL 023-641-4443

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

3. 附属幼稚園「すこやか広場—親子で水遊びをしよう—」の開催について

(概要) 本園では、未就園のお子さんを対象に、子育て支援事業として「すこやか広場」を開催しています。

すこやか広場は、本園を地域の皆さんに知っていただき、共に子育てについて考えたり親子で遊んだりする場です。お誘い合わせの上、お気軽に遊びにいらしてください。

日 時:平成 21 年 7 月 23 日(木)14:30～15:45

場 所:山形大学附属幼稚園

受講対象:2～3歳児

募集人員:親子50組(募集期間:7月14日(火)～7月17日(金))

参加費:親子1組で200円(材料費・保健代として)

持ち物:着替え・タオル・サンダルなど(水にぬれる事が予想されます。)

問い合わせ:山形大学附属幼稚園

TEL 023-641-4446

4. 化学工学会米沢大会 2009 の開催について

(概要) 大河ドラマ「天地人」の主人公 直江兼続で賑わう米沢を会場に、化学工学会の3支部合同(関東支部, 北海道支部, 東北支部)の年次大会が開催されます。

日 時 : 平成21年8月10日(月)、11日(火)

会 場 : 山形大学工学部(米沢市)

特別講演:「直江兼続の一生」

村野隆男氏(米沢市教育委員会文化課長兼図書館長)

8月10日(月)15:00～16:30 山形大学工学部中示範C

(一般市民の方にも講演を開放します。)

問い合わせ :山形大学工学部物質化学工学科 化学工学会米沢大会事務局

E-mail : inquiry-th2009@www3.scej.org

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

山形大学 学術情報基盤センター 平成21年度公開講座

どうするケータイの指導

平成21年8月7日(金) 13:00~17:00



場 所: 山形大学 小白川キャンパス 教養教育1号館 110教室
受講料: 無 料

<講座の概要>

子どもにケータイを待たせる場合、適切な使い方をするために、大人は何ができるのか、これまで実践してきた取り組みの紹介や問題の解決について考えます。

13:00~13:30 開講式

13:30~15:00 パネルディスカッション1

12歳のケータイ所持率、日本は約3割、韓国は約9割、
それなのに、日本で問題が起きやすいのはなぜ？

15:10~16:40 パネルディスカッション2

ケータイ・ポートフォリオ[*1]で継続的な指導を！

16:40~17:00 閉講式

<パネリスト>

山形大学学術情報基盤センター准教授	加納 寛子
東京都大田区立大森第3中学校教諭	大山 圭湖
福島工業高等専門学校准教授	布施 雅彦

<募集人数>

50人(保護者、教育関係者、等)

講座を修了された方には修了証をお渡しします。

[*1] ケータイ・ポートフォリオに関する参考書は、当日紹介します。



お問い合わせ・申し込み先

山形大学 学術情報基盤センター

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

tel:023-628-4209

fax:023-628-4685

kouza@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

FAX送付先：023-628-4685

E-mail：kouza@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学学術情報基盤センター事務室 行

(申し込み期日 平成21年 7月24日(金)まで)

受講申込書

平成21年度山形大学公開講座 どうするケータイの指導 の受講を申し込みます。

※氏名			
※ふりがな			
※電話番号			
※現住所	〒		
メールアドレス			
所属(学校名)		年齢	
☆ケータイやネット指導について、話題に取り上げてほしいことなどがあればお書きください。			

※印のついた欄は、必ずご記入下さい。

☆印のついた欄の記入は任意ですが、記入いただければ、話題提供の参考にさせていただきます。

○プライバシーポリシー

講座申し込みを通じて取得した個人情報の取り扱いに関して、以下の方針で取り組んでいます。

- ・ 個人情報の登録の目的：公開講座参加者の人数の確認。公開講座に関連した連絡のため。
- ・ 個人情報に関する機密保持：個人情報の取り扱いについて最大限の注意を払っております。登録していただいた個人情報については、適正な管理者のもとに適正な管理をすることで、常に個人情報の保護に努めています。登録していただいた個人情報は、第三者には、原則として開示致しません。ただし、以下の場合はこの限りではありません。

法令により開示・提供を要求された場合。開示・提供につき本人の同意を得た場合。

「親子で築こう豊かな心・広がる心」
～子どもの成長とともに＜4回シリーズ＞～
親子わくわくワークショップ

附属小学校の教員が、専門性や個性を發揮しながら、ものづくりや実験、体験の楽しさを味わえるワークショップを開催します。いくつかのコーナーをつくり、興味あるところからいろいろ体験していただきます。

ー 開催ワークショップー

「ドライアイスで遊ぼう」 「カラフル水溶液」
「ストローで演奏しよう」 「空飛ぶリング」 など

日 時：平成21年7月25日（土）10時～12時

会 場：山形大学附属小学校 体育館・理科室・家庭科室
〒990-0023 山形市松波2-7-2

講 師：山形大学附属小学校 教員

受講料：親子1組で500円
（当日ご持参ください）

持ち物：はさみ、筆記用具

募集対象：園児・児童・生徒とその保護者
教員（幼稚園・保育園・小学校・中学校・特別支援学校）

募集人員：親子50組（園児、小学生は保護者同伴）＜先着順＞
定員を大きく上回った場合は、FAXやメール等でお断りの連絡をさせていただきます。連絡がない場合は、参加可能と判断してください。

申込期限：7月22日（水）まで

申込方法：裏面に必要事項をご記入の上、FAXいただくか、または、メールで（minoru@fusho.yamagata-u.ac.jp）お申し込みください。

参加申込書<FAX送信票>

FAX 023-641-8594 <附属小学校>

山形大学公開講座（附属学校園） 講座名：「親子わくわくワークショップ」

【参加者氏名】

1. [_____] 性別（男・女）
年齢（ _____ 歳）

2. [_____] 性別（男・女）
年齢（ _____ 歳）

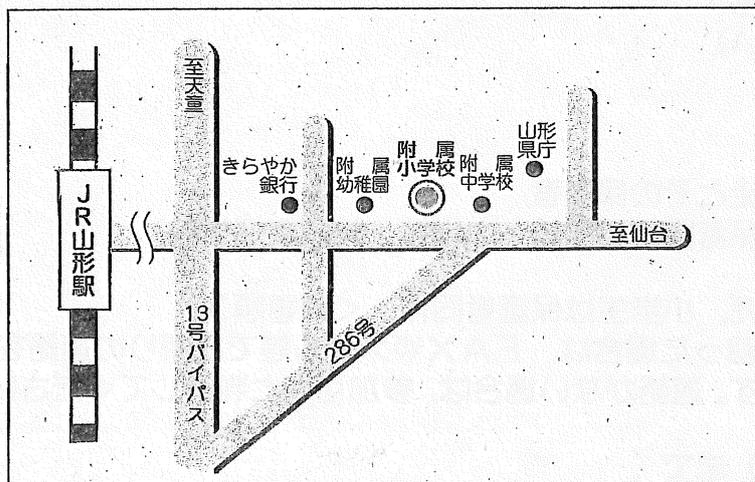
【住所】 〒

[_____]

【電話】 [_____]

【FAX】 [_____]

【会場案内】



◇山形駅前から県庁行きバス
で附属学校前下車
（所要時間約10分）

◇自家用車でお越しの際は、
幼稚園西側の駐車場にとめて
ください。

化学工学会 米沢大会

日時◆2009年8月10日(月),11日(火)

会場◆山形大学工学部(米沢市)

特別講演 「直江兼続の一生」

村野 隆男氏(米沢市教育委員会文化課長兼図書館長)

8月10日(月)15:00~16:30 山形大学工学部 中示範C
(一般市民の方にも講演を開放します)



旧米沢工業高等学校本館(重要文化財)



上杉神社



直江兼続と妻お船の墓



直江兼続像

【シンポジウム】

◆「21世紀社会を支える機能性微粒子とその製造技術」

オーガナイザー: 會田忠弘, 木俣光正(山形大学)

◆「循環型社会を目指すバイオマス利活用技術」

オーガナイザー: 宝田恭之(群馬大学), 高橋幸司(山形大学)

一般研究講演◆技術講演◆The Researcher 招待講演◆学生賞ポスター発表

詳細は米沢大会ホームページをごらん下さい

URL <http://www3.scej.org/meeting/th2009/>

講演申込×切 5月12日(火)
講演原稿×切 7月6日(月)
参加登録×切 7月17日(金)
宿泊申込×切 7月17日(金)

お問合せ先 〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16
山形大学工学部物質化学工学科
化学工学会米沢大会事務局
e-mail: inquiry-th2009@www3.scej.org